

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年1月10日(2024.1.10)

【公開番号】特開2023-51837(P2023-51837A)

【公開日】令和5年4月11日(2023.4.11)

【年通号数】公開公報(特許)2023-067

【出願番号】特願2022-154811(P2022-154811)

【国際特許分類】

C 0 7 C 6 9 / 9 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

G 0 3 F 7 / 0 3 9 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

G 0 3 F 7 / 0 0 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 F 2 2 0 / 2 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 F 2 2 0 / 1 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 F 2 1 2 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

G 0 3 F 7 / 2 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 7 C 6 9 / 9 0 C S P

G 0 3 F 7 / 0 3 9 6 0 1

G 0 3 F 7 / 0 0 4 5 0 1

C 0 8 F 2 2 0 / 2 2

C 0 8 F 2 2 0 / 1 0

C 0 8 F 2 1 2 / 1 4

G 0 3 F 7 / 2 0 5 2 1

G 0 3 F 7 / 2 0 5 0 1

20

【誤訳訂正書】

【提出日】令和5年12月25日(2023.12.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

30

【訂正対象項目名】請求項4

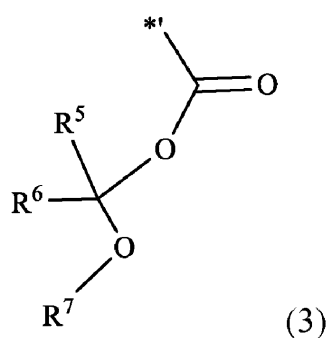
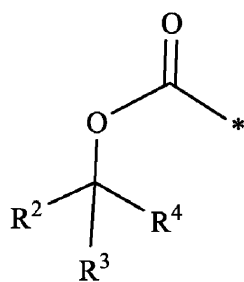
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項4】

R<sup>1</sup>が式(2)又は(3)：

【化2】



40

(式(2)及び(3)において、

R<sup>2</sup> ~ R<sup>4</sup>は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換C<sub>1</sub> ~ 20アルキル、置換若しくは無置換C<sub>3</sub> ~ 20シクロアルキル、置換若しくは無置換C<sub>3</sub> ~ 20ヘテロシクロ

50

アルキル、置換若しくは無置換  $C_{2-20}$  アルケニル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  シクロアルケニル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロシクロアルケニル、置換若しくは無置換  $C_{6-20}$  アリール、又は置換若しくは無置換  $C_{2-20}$  ヘテロアリールであり、各  $R^2 \sim R^4$  は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよいが、ただし、 $R^2 \sim R^4$  から選択される 2 つ以上が水素であることはなく；及び

$R^2 \sim R^4$  のうちの 1 つが水素である場合には、 $R^2 \sim R^4$  の他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換  $C_{6-20}$  アリール又は置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロアリールであることを条件とし；

$R^2 \sim R^4$  のうちのいずれか 2 つは、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

10

$R^5$  及び  $R^6$  は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換  $C_{1-20}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  シクロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロシクロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{6-20}$  アリール、又は置換若しくは無置換  $C_{2-20}$  ヘテロアリールであり；各  $R^5$  及び  $R^6$  は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよく；

$R^5$  及び  $R^6$  は、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

$R^7$  は、置換若しくは無置換  $C_{1-20}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  シクロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロシクロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{6-20}$  アリール、又は置換若しくは無置換  $C_{2-20}$  ヘテロアリールであり、 $R^7$  は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよく；

20

$R^5$  と  $R^6$  のうちのいずれか 1 つ以上は、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して  $R^7$  と一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

\* 及び \* ' は、それぞれ  $L^2$  への結合部位を表す)

のうちの 1 つで表される、請求項 3 に記載の化合物。

#### 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

30

【請求項 5】

$n$  が 1 又は 2 であり；

$X$  が (メタ) アクリル又は置換若しくは無置換  $C_{2-12}$  アルケニルであり；

$L^1$  が単結合であり；

$L^2$  が、単結合であるか、 $-C(O)OC(X^1X^2)-$  であり、 $X^1$  及び  $X^2$  は、それぞれ独立して、水素、フッ素、無置換  $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-6}$  フルオロアルキル、無置換  $C_{3-6}$  シクロアルキル、又は  $C_{3-6}$  フルオロシクロアルキルであり；

$Ar^1$  が、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  ヘテロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-10}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{3-10}$  ヘテロシクロアルキルのうちの 1 つ以上で任意選択的に更に置換されていてもよい  $C_{6-10}$  アリールであり；

40

$R^2 \sim R^4$  が、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-8}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  アリールであるが、ただし、 $R^2 \sim R^4$  から選択される 2 つ以上が水素であることはなく；及び

$R^2 \sim R^4$  のうちの 1 つが水素である場合には、 $R^2 \sim R^4$  のうちの他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  アリールであることを条件とし；

$R^2 \sim R^4$  のうちのいずれか 2 つが、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、前記環は置換されているか無置換であり；

$R^5$  及び  $R^6$  が、それぞれ独立して、水素、又は置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキルであり；

50

$R^7$  が、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-8}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  アリールである；

請求項 4 に記載の化合物。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

式 (2) において、 $R^2 \sim R^4$  は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換  $C_{1-20}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  シクロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロシクロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{2-20}$  アルケニル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  シクロアルケニル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロシクロアルケニル、置換若しくは無置換  $C_{6-20}$  アリール、又は置換若しくは無置換  $C_{2-20}$  ヘテロアリールであるが、ただし、 $R^2 \sim R^4$  から選択される 2 つ以上が水素であることはなく、及び  $R^2 \sim R^4$  のうちの 1 つが水素である場合には、 $R^2 \sim R^4$  の他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換  $C_{6-20}$  アリール又は置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロアリールであることを条件とする。各  $R^2 \sim R^4$  は、任意選択的には、その構造の一部として二価連結基を更に含んでいてもよい。例えば、各  $R^2 \sim R^4$  は、その構造の一部として -O-、-C(O)-、-C(O)O-、-S-、-S(O)<sub>2</sub>-、-N( $R^{2a}$ )-、又は -C(O)N( $R^{2b}$ )- から選択される 1 つ以上の基を更に含んでいてもよく、 $R^{2a}$  及び  $R^{2b}$  は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換  $C_{1-20}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{3-20}$  ヘテロシクロアルキルである。典型的には、 $R^2 \sim R^4$  は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-8}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  アリールである。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

1 つ以上の実施形態では、式 (1)、(2)、及び (3) において、 $n$  は 1 又は 2 であり； $X$  は (メタ) アクリル又は置換若しくは無置換  $C_{2-12}$  アルケニルであり； $L^1$  は単結合であり； $L^2$  は単結合又は -C(O)OC( $X^1X^2$ )- であり、 $X^1$  及び  $X^2$  は、それぞれ独立して水素、フッ素、無置換  $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-6}$  フルオロアルキル、無置換  $C_{3-6}$  シクロアルキル、又は  $C_{3-6}$  フルオロシクロアルキルであり、典型的には、 $X^1$  及び  $X^2$  は水素であり； $Ar^1$  は、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  ヘテロアルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-10}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{3-10}$  ヘテロシクロアルキルのうちの 1 つ以上で任意選択的に更に置換されていてもよい  $C_{6-10}$  アリールである。この実施形態では、 $R^2 \sim R^4$  は、それぞれ独立して、水素、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-8}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  アリールであるが、ただし、 $R^2 \sim R^4$  から選択される 2 つ以上が水素であることはなく；及び  $R^2 \sim R^4$  のうちの 1 つが水素である場合には、 $R^2 \sim R^4$  の他の少なくとも 1 つは置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  アリールであることを条件とし； $R^2 \sim R^4$  のうちのいずれか 2 つは、任意選択的には、単結合又は二価連結基を介して一緒に環を形成していてもよく、この環は置換されているか無置換であり； $R^5$  及び  $R^6$  は、それぞれ独立して、水素又は置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキルであり； $R^7$  は、置換若しくは無置換  $C_{1-10}$  アルキル、置換若しくは無置換  $C_{3-8}$  シクロアルキル、又は置換若しくは無置換  $C_{6-14}$  ア

ルールである。

10

20

30

40

50